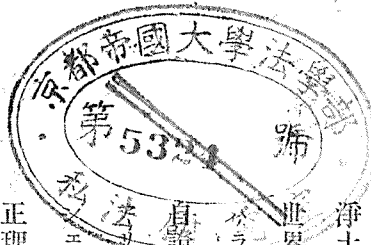
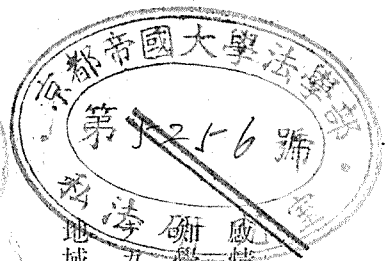


哲學研究第二十一卷(昭和十一年)總目次



感情の煩惱的性格 (二月、一三三)……………佐藤幸治

研覺形而上學の問題 (二月、三六七)……………土井虎賀壽

法カルトの形而上學 (二月、七一〇—、二月、一四九—一九二)……………野田又夫

地域の社會圈としての故郷と郷土 (二月、一〇五一—一四八、四月、三四七—四〇四、五月、四七一—五三二)……………白井二尙

淨土教思想の中觀哲學的解明 (二月、一九三—二三二)……………向田永靜

世界觀の社會學 (三月、二四五—二六九、六月、六二—六三九、八月、八〇〇—八五九)……………樺俊雄

プラドックス再論 (三月、二七〇—三〇二)……………近藤洋逸

自證的眞實態への途 (三月、三〇三—三四三)……………山本清幸

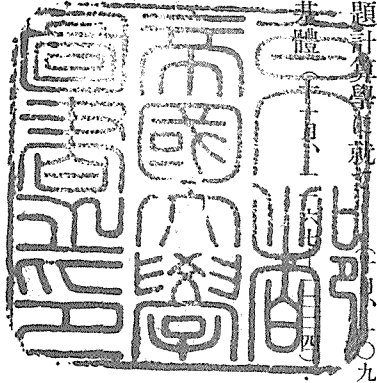
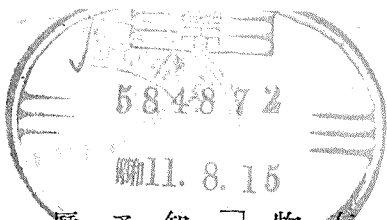
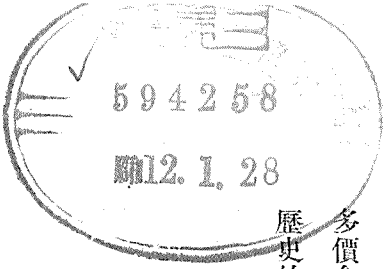
去リストレレスに於ける認識論的思想の發展 (四月、四〇五—四三四、未完)……………藤井義夫

シェリングの藝術哲學 (四月、四三五—四六二)……………松下武雄

正理學派に於ける量論 (五月、五三三—五七六)……………松尾義海

性と血 (六月、五八一—六一一、七月、六七—七二六、十一月、一二五—一二七)……………高山岩男

超數學の本質に就て (六月、六四〇—六六二)……………三田博雄譯



存在の判断的性格と判断の存在的性格 (七月、七二七—七三四)……………土井虎賀壽

物心の關係に就いて (七月、七三五—七五七、八月、八六〇—八九二)……………上田大助

「理念型」構成の論理 (八月、七六七—七九九)……………安田行雄

知覺論 第一部 デシタルト心理学… (九月、八九七—九二三、未完)……………土井虎賀壽

アウグステイヌス『神の國』の歴史觀 (九月、九二四—九六二)……………松村克己

歴史に於ける辨證的と産出的 (九月、九六三—九九三、十月、一〇四二—一〇九一、十二月)……………山良哲次

論理の社會存在論的構造 (十月、九九九—一〇四一、十一月、一二二—一二六六、十二月)……………田邊元

多價命題計算學……………ジャン・ルカジェ・ウイツ

歴史的基體……………近藤洋逸譯

……………高坂正顯